

私の内弟子体験 王志林



王志林と申します。中国珠海心合流気道小林道場から。私は大学1年生の時に矢野勝久先生を知って、私の合気道の道を開いた。今まで、私も練習して五年の時間差。しかし技法の要領を把握できず、体も凝っています。私は小林道場が結縁基金を設立することを知って、海外の道場の弟子を助けて日本に来て勉強することができる。私は卒業して間もないので、とても貧乏でした。だから僕はお願いした矢野先生私の推薦、そして、電子メールの小林弘明道場長の申請に当たって内の弟子。今年1月6日に日本に来て初めての内弟子修行を始めました。本当に小林道場に感謝しております。

日本に来たばかりの時は寒かったですが、私は中国の暖かい南方から来たので、寒くて乾燥した天気にはあまり慣れません。毎日の時間と仕事の手配をすると、びっくりしました。私はできると思いますか？朝稽古がある時、ほとんど毎日朝5時前後には起きなければ掃除道場を用意して、それから練習。練習が終わった後、さらに重ね先生のHAKAMAと準備茶。毎日忙しくて、一生懸命練習しなければなりません。疲れていますが、週に1日の休み時間があります。

私は幸運なことに、私の合気道先輩（林景娣）内弟子一年が多い。彼女は私に多くの内弟子の仕事を教えてくれて、ありがとうございました。そして、次の日の夜は新年会のパーティーでした。翌日はまた小林道場の休日。だから、私はこの生活や弟子のしなければならぬ仕事を学ぶには十分な時間がある。私が来た時、もう1人のスウェーデンの男の弟子がここにおいて、私たちは2ヶ月半の時間を過ごしました。彼も内弟子の仕事を教えてくれた。言葉は通じないが、私たちの付き合いはとても楽しい。唯一好きではないのは、彼と一緒に出かけるとだ。外出するたびに時間がかかりますが、自分一人で時間を約束したら、普通は数分前に出かけます。このように私は余裕のある時間を準備して、突発的なこと（例えば電車が遅れたり、何かを忘れてしまった）。

一週間ほど、寒い天気以外に、この生活の法則に慣れていきます。そして私は発見して朝稽古終了後、全体の人





の特別な精神。朝の練習をしていたとは思わなかったが、疲れていて眠くなるのは、かえって精神的な力がある。私はこのような感じが好きで、しかも楽しみです。しかし、私のレベルはあまりよくありません。最初は練習のリズムについていけなくて、多くの技法がしっかりしていて、正しくない。しかし、先生も皆も喜んで教えてくれました。それから、ゆっくりと成長しま

した。先生方のご指導と皆様のご協力に感謝いたします。

最初の月、私は毎週火曜日の朝、日本語の授業に参加して、基本的な日常用語を勉強しています。でも、自分で日本語を勉強しているので、勉強が早く上手になりました。だから後の時間の中で私はすべて府中道場の練習に行くことができ、私はもっと多くの合気道の知識を学びたいので、練習はもっと多いです。

この時間の中で、多くの友達と知り合って、とても楽しかったです。例えば、小林道場の昔の内弟子のバカ尼さんは、よく私たちと一緒に練習したり、パーティーをしたりしていました。その後また来たアメリカからのブランドンとロシアからのアーニャという内弟子、瞬間にぎやかになった。その後、拉迪も来て、ブルガリアの面白いから、もう何度内に弟子のおじさん。

私は子供の授業に参加するのが少し怖いです。私は何をするかわからないから、日本語が下手で、子供たちとうまく会話ができない。でも、それからますますよく知っています。私は小さい友達はとても面白いし、多くの知識を学ぶことができます。特に基本的な知識もあります

今回日本に来て、ちょうど道場審査試験に間に合った。だからどのくらい過ぎていないで、私は毎週金曜日にも東村山道場での稽古。金曜日の朝は仕事が終わってから、たくさんの時間がありました。ここと言えば、この毎週金曜日は面白いです。内の弟子たちは毎週金曜日の朝練習が終わってから、順番に朝食をして先生たちにあげます。金曜日の朝、指導部の先生たちが所沢道場に来ることになりました。だから、内弟子たちはそれぞれの故郷の食べ物を分かち合うことができ、とても面白いです。これはとても良い体験で、先生たちと自分の故郷を分かち合うことができます。

試験前、天気が寒いから、膝がとても痛い。たくさんの技はしっかり練習できませんが、私はいつも我慢して、試験の審査のために努力しています。しかし、飛見さんに感謝して、彼はいつも私



たちの内の弟子を助けて体を治療するように手伝います。試験の前に、総師範は小金井駅の向こうに温泉に入りました。どうもありがとうございました。体が少しリラックスしました。体をリラックスするために、私たち自身は偶然、安いお風呂に入ることになります。でも、この温泉は初めてで、とてもよかったです。ありがとうございました。今回の初段審査は順調に合格しました。先生のご指導に感謝しています。審査が終わったら、総師範は横浜と秩父駅の向こうへ遊びに行きます。これは内の弟子の最大の福祉ですね、私はそう思います。なぜなら、総師範は休みの日に弟子たちを連れて出かけます。

三ヶ月で練習したり、研究したりして、自分が成長してきたような気がします。体はまだ硬くなっていますが、大きな進歩があって、ゆっくりとリラックスして練習します。子供の授業前のボールゲームは、体が硬くなって体の力をうまく発揮できないからです。投げたボールは、1年生が投げたボールほどの力には及ばない。その後、自分がゆっくりと力の大きいボールを投げ出すことができる。この時、私はやっとできるように思いました。練習する時、先生はずっとリラックスしたいと言っていたが、私はうまくできなかった。今はゆっくりして、小林道場の内弟子になれるのは幸運だ。

非常に感謝して総師範と弘明道場長の指導と縁基金の支援でなければ、私は日本に来ないで弟子になる。最後に、もう一度小林道場の先生方、結縁基金に感謝します。内の弟子の生活はとても面白くて、自分のレベルの向上に対してとても役に立ちます。私は多くの知識と経験を学びました。これからも合気道を勉強していきます。合気道は中国の発展と林の道場を発揚して努力します。今度、また日本に来ます。ありがとうございました。これからもよろしくお願いします。